

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アストハビコ

公表日 2024年 9月 1日

利用児童数 2024年 8月 31日

回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	83%	0%	0%	17%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83%	17%	0%	0%		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33%	0%	17%	50%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	83%	0%	0%	17%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	83%	17%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33%	33%	0%	33%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	83%	17%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17%	17%	33%	33%		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	送迎時しか相談できる機会がないので相談できる機会が欲しい。相談担当の先生がいてくれると心強いです。	定期的な面談の機会を設けていただきます。毎日支援会議を行い、担当する先生はお子さんの課題と現状を共有しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	83%	17%	0%	0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	83%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	17%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%	17%	0%	0%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	67%	17%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	33%	0%	0%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	83%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83%	17%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	先生方のお陰で子供は毎日楽しみながら通ってきていると思います。定期的な保護者面談の場や様子を観る機会、親への研修会も含めてイベントを計画致し助かります。	個別で保護者面談やご自宅における支援の仕方を説明する機会を個別で設けてます。研修会も含めてイベントを計画致します。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アストハピコ		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 8月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 8月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に個別の特性・家庭環境・生活リズムを踏まえたオーダーメイドプログラムを作成。	子どもとの関わりで次に起こる行動を事前にキャッチして、「できた」を増やし、成功体験から自信へ繋げていく。	好きな事を探し、コミュニケーションから信頼関係を構築する。
2	出来ているところをより伸ばし、課題となっている部分は輪切りにしてスモールステップでできることを増やし習慣化していく。	課題を細かく360度分析することで、強化する部分を確認する。	好きな事を探し、コミュニケーションから信頼関係を構築する。
3	お友達とのコミュニケーションが苦手、言葉の遅れが気になる、気持ちが散漫になるなどでお悩みのお子さんに「応用行動分析」を部分的に取り入れて見通しを立てた支援からできることを増やし習慣化していく。「自主性」「見る力」「考える力」「協調性」を育てる。	課題を細かく360度分析することで、強化する部分を確認する。	好きな事を探し、コミュニケーションから信頼関係を構築する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別でマンツーマン療育がメインとなっているので、保護者間での情報が共有されにくい。	個別で行っている面談などをイベント形式で定期的で開催する。	保護者からニーズを聞き取る。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アストハピコ
------	--------

公表日 2024年 9月 1日

利用児童数 2024年 8月 31日

回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	86%	14%	0%	0%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	29%	7%	29%	36%	特に必要性を感じていません。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	71%	7%	0%	21%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	29%	0%	21%	50%		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93%	0%	0%	7%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	43%	21%	0%	29%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93%	0%	0%	7%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	79%	21%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アストハピコ		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 8月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 8月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の特性・家庭環境・生活リズムを踏まえた課題に対して対応。	言葉で伝えたいことを説明できる方向へステップを踏んで導き、対処法を一緒に探します。	コミュニケーションを通して一緒に考えることで解決法を探し信頼関係の構築に結びつける。
2	ソーシャルスキルトレーニングを通して、社会で自信を持って生活できる力を身につける。	「考えていることを相手に伝える」「その場面で適切な行動」「お友達はどの様に感じるか」などを一緒に考え生活習慣の確立につなげる。	人員配置を充実させ、2人までのお子さんを1人の職員が担当としている。
3	お友達とのコミュニケーションが苦手、言葉の遅れが気になる、気持ちが散漫になるなどでお悩みのお子さんに「応用行動分析」を部分的に取り入れて見通しを立てた支援からできることを増やし習慣化していく。「自主性」「見る力」「考える力」「協調性」を育む。	課題を細かく360度分析することで、強化する部分を確認する。	コミュニケーションを通して一緒に考えることで解決法を探し信頼関係の構築に結びつける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小人数での療育がメインとなっているので、保護者間での情報が共有されにくい。	個別で行っている面談などをイベント形式で定期的を開催する。	保護者からニーズを聞き取る。
2			
3			